

学校評価アンケート結果

各対象者内において 評価が高い…
評価が低い…

番号	項目	質問内容	保護者	児童	職員	上期との比較
1	心の教育	● 明るいあいさつを交わしたり自らあいさつをしたりする児童の育成ができたか。	3.23	3.24	2.83	○
2		児童が取り組みやすい生活の目標を設定し、次の日の目標につなげる工夫ができたか。	3.20	3.17	2.92	○
3		豊かな人権感覚を育成する指導方法等の工夫・改善	3.27	3.67	3.08	○
4		(特別の教科 道徳)における議論する道徳の充実	3.13	3.40	3.08	○
5		「熊本の心」や「きずな」等を活用し、考える道徳の授業を実施できたか。	2.80	3.35	2.78	○
6		縦割り班活動の積極的な活用、集会活動の効果的な運営	3.10	3.39	3.00	▲
7		各学年に応じたコミュニケーション能力の素地を養う活動ができたか。	2.90	3.57	2.64	▲
8	健康・安全	毎月の生活目標を学級化し、「是は是、非は非」の積極的生徒指導が実践できたか。	2.93	3.55	3.08	○
9		いじめ・不登校はいつでも起こり得るとらえ、欠席の児童や不登校傾向の児童への積極的な対応ができたか。(愛の123運動+1)	3.37	3.57	3.18	▲
10		● 安心と信頼にあふれる、高め合う人間関係(含学級)づくりに努めているか。	3.20	3.70	3.17	○
11		自分の健康に関心をもち、積極的な体力向上を図ることができる指導を行ったか。	3.23	3.61	3.17	○
12		児童の健康状態を把握し、病気の予防と早めの治療を促す指導ができたか。	3.13	3.48	3.08	○
13		危険予測学習を行い、自分の命は自分で守るための方法を考えさせる指導ができたか。	3.43	3.65	3.25	○
14		学校行事における安全指導および、施設設備の点検は徹底できたか。	3.37	3.42	3.33	○
15	生きる力の育成	早寝早起き朝ごはんを推進するために、保護者啓発と児童への呼びかけを行ったか。	3.13	3.53	2.91	◎
16		食の大切さと健康との関連を指導し、保護者への啓発を行ったか。	3.23	3.38	2.91	◎
17	生きる力の育成	● 児童の「わくわく」が連続し、「分かった」「できた」「もっとやってみよう」が生まれる授業づくりに努めたか。	3.13	3.43	3.09	○
18		学年に応じた家庭学習の習慣化と内容の充実を図ることができたか。	3.13	3.69	2.91	○
19		● 自分なりの問いを立て、探り、新たな問いへとつながる「探求的な学び」の展開を図ることができたか。	3.30	3.40	2.58	◎
20		● 各学年に応じた、考えを「もつ」「表現する」力を養う活動ができたか。	3.33	3.03	3.00	◎
21		日常的に正しい言葉(敬語等)を使える環境を整えることができているか。	2.93	3.23	3.08	○
22		特別支援教育の充実	3.13	3.38	3.08	○
23		自主的な清掃活動と清掃活動の徹底	2.47	3.43	3.08	▲
24	社会に開かれた教育課程	読書活動の推進	2.40	3.63	3.00	◎
25		● 保護者や地域と連携をとり、感謝の気持ちを込めたあいさつ等を推進したか。	3.20	3.27	3.00	○
26		保、小、中との連携や他校、諸施設との交流を積極的に行ったか。	2.62	3.52	2.92	○
27	学校改革の取組	学級通信を、家庭や地域との連携の場とらえ、役立たせているか。	3.37	3.22	3.09	○
28		勤務時間の縮減を図り、効果的に公務を遂行できるよう工夫しているか。	3.13		3.08	○
29		不祥事防止の意識をもって常に行動しているか。	3.07		3.42	▲